

東京都介護支援専門員実務研修受講希望の皆様へ

公益財団法人東京都福祉保健財団

第 2 6 回第 2 期東京都介護支援専門員実務研修の受講者の募集について

東京都介護支援専門員実務研修受講試験に合格された方を対象に、令和 6 年 6 月から 9 月までの間に実施する第 2 6 回第 2 期東京都介護支援専門員実務研修（以下「実務研修」といいます。）の受講者を下記のとおり募集します。受講を希望される方は、下記手続きによりお申込みください。

記

1 受講対象者

東京都介護支援専門員実務研修受講試験に合格した方

なお、3 頁「7（4）登録の欠格事由」に該当する方は、研修を修了しても介護支援専門員の登録ができません。

2 実務研修について

実務研修は、前期課程、実習及び後期課程で構成され、「東京都介護支援専門員実務研修カリキュラム」（5 頁及び 6 頁）に基づき実施します。受講にあたっては、（1）前期課程、（2）実習、（3）後期課程の順番で受講し、全課程を修了する必要があります。

3 研修実施方法

（1）研修日程

「第 2 6 回第 2 期東京都介護支援専門員実務研修日程」（7 頁）をご覧ください。

※介護支援専門員の業務を開始できる時期は、実務研修修了後、介護支援専門員証が交付されたときからです。最短で専門員証が交付される時期は、3 頁をご確認ください。

（2）研修コース

以下いずれかの研修コースで、ご受講いただきます。

種別	講義部分	演習（グループワーク）部分
オンライン研修コース	ケアマネ研修 管理システムで 動画視聴 (オンデマンド 動画配信)	Zoom で受講 (※ スマートフォン、タブレット 端末では画面共有ができないた め、受講できません)
集合研修コース		会場で受講

- ① オンライン研修コースは、Zoomを使用します。パソコンや通信ネットワーク等の受講環境をご準備ください。詳細は「オンライン研修コースについて」（7 頁）をご確認ください。
- ② 集合研修コースは、感染症等（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなど）に罹患し、治癒していない場合は、受講をご遠慮いただきます。また、会場内の換気を行うとともに受講中はマスク着用や手洗い、手指のアルコール消毒をお願いいたします。

(3) 講義動画の視聴

オンライン研修コース及び集合研修コースともに、オンデマンド形式による講義動画を視聴いただく科目があります。動画の視聴には大量の通信が発生するため、スマートフォンまたはタブレットを使用すると、携帯電話会社のデータ容量制限に達する場合があります。また、容量制限を超えて使用した場合、高額の通信費用が発生することがありますので、Wi-Fi環境など、容量制限が発生しない環境での受講を推奨します。

(4) 実習

実習は、研修日程表の「実習」欄に記載のある期間中に、実習受入事業所が指定する**2日間以上**で行います。

(5) 提出物

実習後に作成する、①実習記録、②学習のねらい、③実習報告書を提出いただきます。(未記入や未提出の場合は、研修は未履修扱いになります。)

※提出物等研修受講にかかる詳細は、受講決定通知とあわせてご案内いたします。

4 受講料及び研修テキストの送付

(1) 受講料

44,600円(非課税)

受講料は、消費税法及び消費税法施行令の規定に基づき、非課税です。

受講決定後、振込用紙を送付いたしますので、振込期日までにお支払いください。

※振込期日は1週間程度と短くなっておりますので、ご注意ください。

(2) 研修テキスト等の送付

受講料の振込確認後、ご登録の住所に宅配便でお送りします。

郵便局に転居届を提出していても**転送されません**。受講申込後に転居された場合は、財団までご連絡ください。

5 受講申込の手順

インターネット申込で受付を行います。以下の専用サイトから申し込んでください。

また、申込後の内容変更は承れません。受講コース等をよくお確かめの上、お申込みください。

【受付期間】

令和6年4月12日(金曜日)10時00分 から 4月19日(金曜日)23時59分 まで

- ・期間内に**申込手続きを完了**させてください。期間外の受付はできません。
- ・締切間際のお問い合わせには対応できない場合がありますので、余裕を持ったお手続きをお願いいたします。

(1) 申込が定員を超えた場合は、抽選により受講者を決定します。

(2) 第1希望のコースが定員に達した場合は、順次第2希望・第3希望のコースに割り振りいたします。

(3) ご希望によっては、今期で研修を受講できない可能性があります。

(4) 募集の結果、コースの受講希望者が僅少となる場合は、当該コースを実施しない場合があります。

(QRコード)



URL: https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/open_seminars/application/26

【専用サイト】東京都福祉保健財団トップページ>介護支援専門員のご案内>研修>実務研修

6 受講者決定方法及び申込結果の通知

(1) 受講者の決定方法

受講定員に限りがあるため、介護支援専門員としての就業が決まっている方を優先して受講者を決定いたします。

なお、申込が定員を超過した場合は、抽選により受講決定いたします。

お申込み状況によっては今期での受講ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 申込結果通知

申込者全員に**令和6年5月9日（木曜日）**頃、ご登録のメールアドレスへ受講決定・不決定の審査結果を通知いたします。

また、受講決定者の方は、ご登録の住所宛に受講決定通知を郵送いたします。

到着予定日：**令和6年5月24日（金曜日）**

※受講決定通知書が**令和6年5月28日（火曜日）**になっても届かない場合は、ケアマネ研修担当までご連絡ください。

7 介護支援専門員登録及び介護支援専門員証の交付申請

介護支援専門員として業務に従事するためには、介護支援専門員「**①登録**」及び「**②証交付**」を両方申請する必要があります。

申請方法及び交付日程等につきましては、受講中に配信するオリエンテーション動画をご確認ください。

なお、介護支援専門員証の最短での交付は、令和6年10月15日付となります。

(1) 登録及び証交付申請

	申請名称（交付物）	申請期日	手数料
①	介護支援専門員 登録 申請 (介護支援専門員登録通知書)	実務研修修了日から 3か月以内 ※1	1,500円
②	介護支援専門員 証交付 申請 (介護支援専門員証)	登録通知書の交付日から 5年以内 ※2	1,000円

※1) 3か月を経過すると再度、実務研修を受講する必要があります。

※2) 5年を超えると「介護支援専門員再研修」を受講する必要があります。

(2) 必要書類等

本人確認のため、住民票（発行後3か月以内のもの）、運転免許証（写）、マイナンバーカード（写）のいずれか1点が必要となります。

(3) 手数料は研修修了後に配付する「振込票」でお支払いください。

なお、ゆうちょ銀行でのお支払いとなりますが、振込手数料をご負担ください。

(4) 登録の欠格事由

介護保険法第69条の2第1項各号において定める以下アからキまでのいずれかの欠格事由に該当する方は介護支援専門員の登録が認められません。

ア 心身の故障により介護支援専門員の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者

- ウ 介護保険法その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- エ 登録の申請前5年以内に居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をした者
- オ 介護保険法第69条の38第3項（介護支援専門員としての業務禁止の処分）の規定による禁止の処分を受け、その禁止の期間中に同法第69条の6第1号（本人からの登録消除の申請）の規定によりその登録が消除され、まだその期間が経過しない者
- カ 介護保険法第69条の39（登録の消除）の規定による登録の消除の処分を受け、その処分の日から起算して5年を経過しない者
- キ 介護保険法第69条の39の規定による登録の消除の処分に係る行政手続法第15条（聴聞の通知の方式）の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に登録の消除の申請をした者（登録の消除の申請について相当の理由がある者を除く。）であって、当該登録が消除された日から起算して5年を経過しない者

8 個人情報の取扱いについて

受講申込書に記載された個人情報については、適正に管理を行い東京都介護支援専門員研修の受講要件審査・実施及び名簿登録・修了証明書発行業務以外の目的に利用することはありません。

なお、受講履歴等について、名簿登録のために東京都に、また次回研修申込時の受講要件審査のために、東京都から他の東京都指定研修実施機関に提供を行います。

9 受講地の変更

東京都の試験に合格された方は、原則、東京都で実務研修を受講していただきます。

ただし、他道府県庁にやむを得ないと判断された場合のみ、他道府県での受講が認められます。

受講地変更を希望される方は、**事前に以下の問合せ先へ電話連絡し、受講地変更が認められるかご相談ください。**受講地変更は東京都と道府県間で手続を行うため時間を要します。希望される方は**お早めにご連絡をお願いいたします。**

【受講地変更の問合せ先】

東京都福祉局 高齢者施策推進部 介護保険課 ケアマネジメント支援担当
電話：03-5320-4279

お問い合わせ先（研修実施団体）

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部介護人材養成室 ケアマネ研修担当

電話番号 03-3344-8512

URL <https://www.keamane.tokyo.jp/>

◆受付時間は、月曜日～金曜日（祝日除く。）の8時45分～17時30分です。

◆申込み時期は、電話が大変に混み合う場合がございます。

(QRコード)



介護支援専門員実務研修 カリキュラム

研修科目	内容	時間数
【前期】		
介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の基本理念を理解し、介護保険制度における利用者の尊厳の保持、自立支援に資するケアマネジメントの役割、ケアマネジメントを担う介護支援専門員に求められる機能や役割に関する講義を行う。 介護保険制度の現状と地域包括ケアシステムが求められる背景とその考え方、構築に向けた取組状況に関する講義を行う。 介護サービスの利用手続き(要介護認定等に関する基本的な視点と概要)、居宅サービス計画等の作成、保険給付及び給付管理等の仕組みといった一連の関係性についての講義を行う。 	講義 3 時間
自立支援のためのケアマネジメントの基本	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジメントの成り立ちや機能について理解するとともに、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準に基づいて、介護支援専門員としての責務及び業務を理解し、ケアマネジメントの中心的な役割を担う立場であることを認識するための講義を行う。 利用者が住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができるよう、自立支援のためのケアマネジメントを实践する上で必要な視点を理解する。 インフォーマルサービスも活用したケアマネジメントを理解する。 利用者を支援する上で、家族を取り巻く環境に留意し、ヤングケアラーや仕事と介護の両立支援を含む家族に対する支援の重要性や目的、関連する支援施策の動向、介護支援専門員に求められる役割について理解する。 介護予防支援や、介護予防・日常生活支援総合事業におけるケアマネジメント(介護予防ケアマネジメント)の基本的な考え方やプロセスを理解するための講義を行う。 質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。 	講義及び演習 6 時間
相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 直接援助を行う職種と相談援助を行う職種の各々の役割や視点の違いを認識することにより、相談援助の職種における専門性を理解する為の講義を行う。 相談援助を行う上での留意点として、感情移入することなく自己を客観視することの重要性とそのための方法等に関する講義を行う。 利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的に捉える視点(身体的・心理的状況、生活環境、社会参加状況等)について理解する。 相談援助に係る基本的な技法を理解する。 	講義及び演習 4 時間
人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員が備えるべき、利用者本位、自立支援、公正中立、権利擁護、守秘義務、利用者のニーズの代弁等の倫理に関する講義を行う。 人権の概念、利用者の尊厳の保持、介護支援専門員の倫理綱領、倫理原則、成年後見制度等に関する講義を行う。 認知症、身寄りのない高齢者、看取りのケース等における意思決定支援の必要性や意思決定に向けた支援プロセスに関する講義を行う。 ケアマネジメントの実践において直面しやすい倫理的な課題とその課題に向き合うことの重要性を理解するための講義を行う。 	講義 3 時間
利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及びその家族、利用者を支援するサービスの担当者等の多職種に対する説明の意義・目的を理解するための講義を行う。 サービス担当者会議や地域ケア会議等における場面ごとに求められる説明の意味・目的を理解するとともに説明の技法(話の構成、姿勢、スピード、言葉の選択等)を修得する。 説明から利用者の合意に向かうまでのプロセスの重要性とポイントを理解するとともに、多職種協働における説明責任を理解する。 	講義及び演習 2 時間
ケアマネジメントのプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジメントプロセスの構成と流れを理解するとともに、各プロセスにおける意義・目的に関する講義を行う。 ケアマネジメントプロセスにおける各プロセスの相互の関係についての講義を行う。 	講義 2 時間
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約	<ul style="list-style-type: none"> 受付及び初期面接相談(インテーク)の場面における相談援助の視点と技術を修得するとともに、利用者及びその家族との信頼関係の構築の重要性について講義を行う。 契約は重要事項の説明を経た法律行為であることから、利用者が主体となる契約の意義とそれを保障するための仕組み(苦情申し立て、権利擁護等)についての講義を行う。 契約に関する制度上の位置付けや留意事項に関する講義を行う。 	講義及び演習 1 時間
アセスメント及びニーズの把握の方法	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントからニーズを導き出すまでの思考過程の全体像に関する講義を行う。 アセスメントにおける情報収集の項目の内容、目的、主治医意見書の記載内容を理解するとともに、情報収集の方法・技術を修得する。 収集した情報を的確に分析することにより、課題の明確化、改善及び悪化の可能性などを導き出せることを理解する。 利用者の生活全体を捉える視点の重要性を理解するとともに、利用者の生活の現況から生活機能(WHO国際生活機能分類による)と背景を把握し、理解する視点を修得する。 課題整理総括表等を用いてADLやIADL等の状況から利用者が抱える課題を明確化し、状態の維持改善及び悪化の可能性の判断と予測を立て、適切なニーズを導くための技術を修得する。 情報収集やアセスメント時に必要な視点の抜け漏れを防止することの必要性を理解する。 	講義及び演習 6 時間
居宅サービス計画等の作成	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果及び総合的な援助の方針を記載するに当たっての留意点に関する講義を行う。 アセスメントから導いたニーズを解決するための視点と達成するための目標の関係についての講義を行う。 インフォーマルサービスも含めた社会資源の種類及び内容を理解するとともに、インフォーマルサービスの活用も含めた居宅サービス計画等を作成する方法を理解する。 保健医療サービス利用時の主治医等からの意見収集、リハビリテーション専門職からの意見収集など多職種との連携に当たっての留意点に関する講義を行う。 訪問介護計画等の個別サービスの計画は、居宅サービス計画に記載したニーズや目標に基づいて作成され、利用者を支援するサービス提供につながっていくものであることから、居宅サービス計画との連動の重要性を理解するとともに、個別サービスの計画につながる目標の立て方等を修得する。 介護予防サービス計画の関連様式の作成方法、作成のための課題分析の考え方(基本チェックリストの活用方法等)に関する講義を行う。 	講義及び演習 3 時間
サービス担当者会議の意義及び進め方	<ul style="list-style-type: none"> 会議を開催するに当たり、事前の準備や開催当日の準備など、必要な業務を理解するとともに、会議の進行の手法等に関する講義を行う。 サービス担当者会議は、利用者及び家族並びにサービス担当者も含めて、利用者を支援していくための方向性を定める場であることから、介護支援専門員によるアセスメントの結果を共有することや、各サービス担当者との情報共有の重要性を理解する。 会議での意識の共有に当たり、居宅サービス計画と訪問介護計画等の個別サービス計画との内容の整合性を確認することの重要性を理解する。 複数のサービスを利用する場合には、各サービスの個別サービス計画ごとの内容を確認することの重要性を理解する。 新規ケース、更新ケース、要介護状態等の区分変更ケースごとのサービス担当者会議における検討の留意点についての講義を行う。 	講義及び演習 3 時間
モニタリング及び評価	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及びその家族、サービス担当者等との継続的な連絡や、居宅を訪問し利用者とは面接することの意味を理解するための講義を行う。 モニタリングにおける視点や手法、状況の変化への対応を理解する。 評価表等を活用し目標に対する各サービスの達成度(効果)の検証の必要性と評価手法を修得する。 居宅サービス計画の再作成を行う方法と技術についての講義を行う。 モニタリングにおける多職種との役割分担と連携の重要性を理解する。 モニタリング結果の記録作成の意味と、記録に当たっての留意点に関する講義を行う。 	講義及び演習 3 時間
介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及びその家族の支援に際し、チームアプローチの意義を理解するとともに、介護支援専門員には、ケアのマネジメントだけでなく、チームのマネジメントも求められることを認識するための講義を行う。 チームアプローチに際し、チームを組成する各職種の専門性と各々に求められる役割を理解するとともに、チームにおける介護支援専門員の役割を理解し、チーム運営において想定される課題や対応策を含め、チームを円滑に機能させるために必要な知識・技術を修得する。 インフォーマルサービスを取り入れた居宅サービス計画における多職種連携についての講義を行う。 	講義及び演習 2 時間
地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築が求められる背景及び地域包括ケアシステムが目指す姿についての講義を行う。 地域包括ケアシステムを構築していく中で介護支援専門員に求められる役割(自立支援に資するケアマネジメント、インフォーマルサービスも含めた社会資源の活用、多職種、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等との連携、不足している地域資源の提案等)に関する講義を行う。 地域包括ケアを実現していくためのケアマネジメントを行う上で、必要な保健・医療・福祉サービスに関する講義を行う。 地域包括ケアシステムに関して、地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を把握する事が大切であることから介護保険事業計画、地域ケア会議の重要性や内容に関する講義を行う。 地域共生社会の実現に向けた他法他制度の活用や他の職種との連携相互理解についての講義を行う。 生活保護施策、障害者施策、老人福祉施策、難病施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策などの概要について理解するとともに、関連する機関やボランティア等との連携・協力・ネットワークの構築についての講義を行う。 	講義 3 時間

生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携に当たって早い段階から連携の重要性を理解し、利用者の医療に係る情報や状態の改善可能性に係る意見等を把握しておく必要があることから、医療機関や医療職からの情報収集の方法等についての講義を行う。 医療との連携に当たっての留意点を理解するとともに、介護支援専門員から医療機関や医療職への情報提供の方法及び内容(生活状況、サービスの利用状況等)に関する講義を行う。 地域における、在宅医療・介護の連携を推進する役割を担っている機関の概要に関する講義を行う。 多職種協働の意義を理解するとともに、多職種間で情報を共有することの重要性を理解し、情報共有に当たり個人情報を取り扱う上で利用者やその家族の同意の必要性についての講義を行う。 	講義 3 時間
ケアマネジメントに係る法令等の理解	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則、厚生労働省告示、居宅サービス等の運営基準、居宅介護支援等の運営基準に關しその位置付けや業務との関連を俯瞰する講義を行う。(特に、介護支援専門員及びケアマネジメントに関する部分の規定について、業務と関連づけて理解する。) 事業所の指定取消や介護支援専門員の登録消除などの不適切事例を参考に、ケアマネジメントを実践する上での法令遵守(コンプライアンス)の重要性を認識するための講義を行う。 介護報酬に係る関係告示や通知等の概要についての講義を行う。 	講義 2 時間
実習オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 実習は、ケアマネジメントの実践現場を通して様々なことを学ぶことができる機会であるとともに、これまでの講義や演習を通じて身につけた知識・技術を試行する機会でもあり、効果的な実習となるよう、実習の目的についての講義を行う。 実習の流れや実習時の心構えなどに関する講義を行う。(実習を通じて、地域ごとの社会資源等の状況や現場での倫理的課題などについても意識を向けるよう認識する。) 	講義 1 時間
ケアマネジメントの基礎技術に関する実習	<ul style="list-style-type: none"> 実習に当たっては、利用者への居宅訪問を行い、アセスメントの実施、居宅サービス計画の作成、サービス担当者会議の準備・同席、モニタリングの実施、給付管理業務の方法など一連のケアマネジメントプロセスの実習を行う。 	
【後期】		
実習振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 実習で行ったアセスメントや居宅サービス計画の作成など、一連のケアマネジメントプロセスの実践事例を発表することにより、実習を通じて感じた気付きや不足している知識・技術といった課題、現場で生じる倫理的な課題を共有する。 受講者間で共有した課題や実習に関する講師からの総評を踏まえて、今後、専門職として身につけていくべき知識・技術についての学習課題を認識する講義を行う。 	講義及び演習 3時間
ケアマネジメントの展開		
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジメントを実践する上で必要な高齢者の生理、高齢者やその家族の心理、住環境や同居者の有無などそれぞれの要素と要素の関係性の重要性に関する講義を行う。 「適切なケアマネジメント手法」の基本的な考え方及び高齢者が有する疾患に関係なく想定される支援内容及び多職種との情報共有において必要な視点を整理した「基本ケア」について理解する。 それらの関係性を踏まえたアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等への具体的な展開方法など、支援に当たってのポイントを理解する。 	講義及び演習 3 時間
脳血管疾患のある方のケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患の分類、症状、後遺症、生活障害の程度と身体機能の関係、廃用症候群との関係性についての講義を行う。 脳血管疾患における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 脳血管疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(脳血管疾患がある方のケア)」について理解する。 脳血管疾患の要介護者等に対するリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用に関する講義を行う。 リハビリテーションや福祉用具等、それらを活用する際の医療職をはじめとする多職種との連携協働に当たってのポイントを理解する。 脳血管疾患の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点、モニタリングでの視点を理解する。 	講義及び演習 4 時間
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の原因となる疾患、症状、改善可能性、症状の進行並びに薬物療法の有効性、留意点及び副作用について講義を行う。 認知症における療養上の留意点、倫理的な対応及び起こりやすい課題について理解する。 認知症ケアにおける医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。 認知症に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(認知症がある方のケア)」の内容を理解する。 認知症の事例におけるアセスメントや課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。 独居で認知症の要介護者等に対するアプローチの視点や方法を理解する。 認知症の要介護者と同居している家族に対する支援や地域への配慮と協働の視点を持ったケアマネジメントの具体的な方法を修得する。 認知症に伴う行動心理症状(BPSD)に対するアプローチの視点及びケアの手法を理解する。 	講義及び演習 4 時間
大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 大腿骨頸部骨折の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法に関する講義を行う。 大腿骨頸部骨折における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 大腿骨頸部骨折に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(大腿骨頸部骨折がある方のケア)」の内容を理解する。 大腿骨頸部骨折の要介護者等に対するリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法等についての講義を行う。 リハビリテーション、福祉用具などを活用する際の医療職をはじめとする多職種との連携協働に当たってのポイントを理解する。 大腿骨頸部骨折の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。 	講義及び演習 4 時間
心疾患のある方のケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 心不全につながる心疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害や留意点に関する講義を行う。 心疾患における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 心疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(心疾患がある方のケア)」の内容を理解する。 心疾患の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。 	講義及び演習 4 時間
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥性肺炎の特徴や誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点等を踏まえた支援に当たってのポイントについて理解する。 誤嚥性肺炎の予防における「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の重要性を再確認する講義を行う。 誤嚥性肺炎の予防における検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(誤嚥性肺炎の予防のためのケア)」の内容を理解する。 誤嚥性肺炎の予防の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。 	講義及び演習 3 時間
高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に多い疾患等の原因や症状、症状の進行、生活障害の程度と身体機能の関係についての講義を行う。 疾患相互の影響、高齢者の生理(生活上の留意点)との関係、療養上の留意点及び起こりやすい課題に関する講義を行う。 医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。 各疾患・症候群における生活習慣を改善する為のアプローチの方法(本人の動機付け、家族の理解の促進等)についての講義を行う。 	講義 2 時間
看取りに関する事例	<ul style="list-style-type: none"> 看取りのケースについて支援を行う際における介護支援専門員の役割や適切な姿勢についての講義を行う。 看取りに関連する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントを理解する。 看取りに向けた利用者及びその家族との段階的な関わりの変化(生活動作の負担や痛みの軽減、主治医との連携や多職種協働、急変時の基本的な対応等)を認識する。 看取りのケースにおいて、在宅生活の支援を行う際の起こりやすい課題を理解し、アセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。 	講義及び演習 4 時間
地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 他法他制度の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点に関する講義を行う。 他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメントを行う際の社会資源の活用に向けた関係機関や多職種との連携、相互理解の必要性、状態に応じた多様なサービスの活用方法についての講義を行う。 関連する他法他制度の内容や動向に関する講義を行う。 	講義及び演習 3 時間
アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	<ul style="list-style-type: none"> これまでの研修の中で修得した知識・技術を確認するため、事例に即したアセスメント、ニーズの把握、居宅サービス計画等の作成及びモニタリングを一貫して行うことにより、ケアマネジメントプロセスの理解を深めるとともに、理解が不足しているものがないか自己評価を行う。 作成した居宅サービス計画等を原案として、サービス担当者会議の演習を行う。 	講義及び演習 4 時間
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	<ul style="list-style-type: none"> 研修全体の振り返りを行うに当たって、グループ又は全体で意見交換を行い、専門的助言を含めて、研修における学習の成果や今後の学習課題への意識付けのための講義を行う。 現場で生じる課題への対応や共同で研修する機会を作るため、研修受講者間においてネットワークの構築を図る。 研修において獲得した知識・技術について、更なる実践力を身につけるため、法定外研修やOJT等を活用した具体的な自己研鑽の実施方法、地域における学びの場や機会の状況等についての講義を行う。 	講義及び演習 2 時間

(計 8 7 時間)

第26回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

研修実施方法(オンライン/集合)・日程をご確認の上、お申し込みください。

※動画科目は、各自で動画配信による講義を視聴し、受講します。

日程	時間	科目	オンライン研修コース (動画視聴、Zoom演習)				集合研修コース (動画視聴、集合演習)							
			2407a1 コース 定員90人	2407b1 コース 定員90人	2407c1 コース 定員90人	2407d1 コース 定員90人	2407e1 コース 定員72人	2407f1 コース 定員72人						
前期 動画科目	オリエンテーション	開講オリエンテーション	オンデマンド動画配信講義科目 パソコン・スマートフォンにより各自で講義動画を視聴し、学習します。 講義の中で講師から出題される課題を個人学習シートに記載します。 令和6年6月中旬 から 前期1日目まで の間で視聴											
		実習オリエンテーション												
		介護支援専門員登録オリエンテーション												
	前期課程	約3時間							介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント					
		約6時間							自立支援のためのケアマネジメントの基本					
		約4時間							相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎					
		約3時間							人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理					
		約2時間							利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意					
		約2時間							ケアマネジメントのプロセス					
		約1時間							ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約					
		約2時間							介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)					
		約3時間							地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源					
		約3時間							生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義					
		約2時間							ケアマネジメントに係る法令等の理解					
		約50分							生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①					
約70分	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①													
前期1日目	09:30-17:30	アセスメント及びニーズの把握の方法 居宅サービス計画等の作成 サービス担当者会議の意義及び進め方①	7/2(火) Zoom	7/3(水) Zoom	7/4(木) Zoom	7/5(金) Zoom	7/7(日) 財団	7/8(月) 財団						
前期2日目	09:30-17:30	サービス担当者会議の意義及び進め方② モニタリング及び評価	7/9(火) Zoom	7/10(水) Zoom	7/11(木) Zoom	7/12(金) Zoom	7/13(土) 財団	7/14(日) 財団						
前期3日目	09:30-17:30	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント② 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント②	7/19(金) Zoom	7/22(月) Zoom	7/23(火) Zoom	7/24(水) Zoom	7/27(土) あいおい							
実習	右記期間のうち2日間	ケアマネジメントの基礎技術に関する実習	7/20～ 8/26	7/23～ 8/26	7/24～ 8/27	7/25～ 8/27	7/28～8/31							
後期 動画科目	約3時間	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	オンデマンド動画講義科目 各自で講義動画を視聴し、学習します。 講義の中で講師から出題される課題を個人学習シートに記載します。 配信開始時期は、別途ご案内いたします。											
	約1時間	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①												
	約3時間	心疾患のある方のケアマネジメント												
	約3時間	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント												
	約2時間	高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解												
	約4時間	看取りに関する事例												
	約3時間	地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント												
	約50分	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①												
	後期1日目	09:30-17:30							実習振り返り 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9/2(月) Zoom	9/3(火) Zoom	9/4(水) Zoom	9/5(木) Zoom	9/1(日) あいおい
	後期2日目	09:30-17:30							アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り②	9/6(金) Zoom	9/9(月) Zoom	9/10(火) Zoom	9/11(水) Zoom	9/13(金) 未定(新宿周辺を予定)

※終了予定時刻は目安です。当日の進行により多少前後する可能性があります。

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
財団	東京都福祉保健財団 (新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」 /都営新宿線・JR・私鉄各線「新宿駅」
あいおい	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル (渋谷区代々木3-25-3)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/都営新宿線、JR・私鉄各線「新宿駅」

オンライン研修コースについて

オンライン研修コースを希望する場合には、以下をご確認の上、お申し込みください。

1 オンライン研修コースについて

- (1) 演習では「Zoom」アプリを使用します。
- (2) Zoom で使用するID、パスコードは受講決定通知に記載してお知らせします。
- (3) 受講決定者を対象に事前接続テストを実施し、ご自身のデバイスで接続可能か、事前に確認や基本的な操作について確認いただきます。(参加推奨)
詳細の手順は受講決定時にお知らせします。

【オンライン研修コース受講の流れ】



(※1) オンライン研修コースお申込みいただく前に Zoom テストミーティングにてカメラ、音声等の動作確認をしてください。

(検索エンジンで「Zoom テスト」と検索(<https://zoom.us/test>))

(※2) 事前接続テストの開催日時は、受講決定通知書に同封してお知らせいたします。

2 オンライン研修コースの受講に準備いただくもの

オンライン研修コースを選択する方は、必ず以下の環境をご準備ください。

受講に必要なもの	備考
インターネットに接続可能なパソコン	スマートフォン・タブレットは不可
Web カメラ、スピーカー、マイク	・パソコンに内蔵されていれば、新たに用意いただく必要はありません。 ・同じ空間でPCを複数使用する場合は、ハウリング防止のためヘッドセットを使用してください。 ・ヘッドセットは雑音が入りにくい「単一指向性」のものを推奨します。
Zoom アプリ	事前にアプリのダウンロードをお願いします。
Word、Excel(マイクロソフト社のソフト)	左記のソフトの資料を研修で使用します。
通信ネットワーク環境	有線 LAN や Wi-Fi 等、オンライン研修コースを受講するための通信設備が必要になります。
その他	科目修了時に実施する修了評価テストは「Google フォーム」を使用します。 ※Google アカウントの取得は不要です。

※受講場所をご自宅もしくは事業所を推奨します。特に事業所で受講する場合は、周囲の音声を拾わないように、個室での受講や、ヘッドセットを着用しての受講をお願いします。

※研修の受講にあたり、研修資料にパソコンで入力等をしていただく場合があります。

※当財団でネットワーク環境や Zoom インストール等、通信設備等に関するサポートや、トラブル対応はいたしかねます。受講生自身で機器・環境等の確認、調整を実施してください。

※Zoom はブラウザでの受講も可能ですが、接続が不安定になること等が想定されるため、アプリの使用を推奨します。

※演習時等、ファシリテーターや受講生との資料の共有(発表時や書記役の書記シートの共有)の際に Zoom の画面共有機能の操作等があります。操作手順等については、受講決定者の方へ受講決定通知に同封して「研修受講にあたっての操作マニュアル」を送付しますので、そちらをご確認ください。

(参考)オンライン研修コース受講における推奨環境について

<サポートされているオペレーティング システム>

・macOS X と macOS 10.9 以降

・Windows 10*

注: Windows 10 デバイスは、Windows 10 Home、Pro または Enterprise を搭載している必要があります。S モードはサポートされていません。

・Windows 8 または 8.1 Windows 7

<サポートされているブラウザ>

・Windows: IE 11+, Edge 12+, Firefox 27+, Chrome 30+

・Mac: Safari 7+

この他システム要件等については Zoom ヘルプセンターをご確認ください。

(<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>)

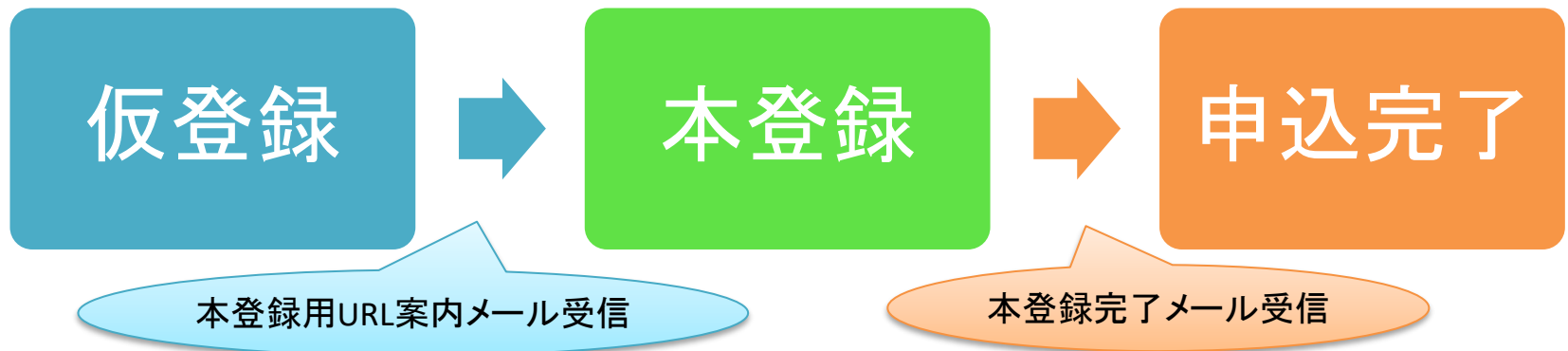
3 オンライン研修コース受講にあたっての留意点

- (1) 受講中、通信状況等により接続が途切れてしまう状況が続いた際には、未履修扱いとなり、空き状況により別日程への振替えもしくは、次期への延長手続きが必要になります。
- (2) パソコン以外(スマートフォンやタブレット等)でのご受講や、Word、Excel が使用できず、研修受講に支障をきたす場合には、出席が認められない場合があります。
- (3) 本研修は法定研修です。ご自宅で受講される場合、お子様やペットなどの面倒をみながらの研修受講はお認めしておりません。演習に支障をきたすような態度が見受けられ、講師や事務局から注意をしてもその行為等がなお続く場合は、ご退出いただき、以降の出席を認めないものとし、その場合、今期の研修は未履修となり、研修の修了が必要な場合は、次期以降に再度お申込みいただき、初日から受講いただきます。
- (4) Zoom 使用にあたっては、Zoom 規約をお読みいただき、同意をした上でご受講ください。
Zoom 利用時の損害、損失について、東京都及び財団は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本研修について、撮影(スクリーンショット含む)・録音・録画をすることは禁止です。
- (6) 本研修のミーティングID及びパスワードを受講生以外の第三者に提供したり、SNS等で共有しないでください。

研修の申込みにあたって

お申込は **4月12日(金)10:00**から**4月19日(金)23:59**までです。
(※先着順ではありません。)

お申込みの大まかな流れです。
期間内に本登録まで完了させ、申込完了メールが届いていることをご確認ください。



お申込みの操作方法につきましては、インソースヘルプデスクにお問い合わせください。

電話番号 03-6902-1033 (平日9:00-17:00)

メールアドレス care-system-helpdesk@insource.co.jp

なお、仮登録後や本登録後に送付されるメールにご連絡いただいてもご返信できませんので、ご了承ください。

仮登録について

①以下の仮登録用URLに接続し**仮登録**を行ってください。

第26回第2期実務研修

仮登録用URL : https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/open_seminars/application/26

仮登録QRコード :



お申し込みはスマートフォンでも可能です！

スマートフォンからのお申し込みの方はQRコード読み取り、仮登録をした後、14ページにお進みください。

②お名前、メールアドレス、確認を入力し、「確認画面へ」を押します。

Leaf 研修管理システム - リーフ 画面ID:68-03
講座申込

登録情報の入力 | 登録情報の確認 | 登録完了

申込講座

講座名	再研修【令和5年度第1期】
実施日	2023/05/29(月)～2023/06/06(火) 09:30～16:00(1日間)
会場名	—
申込状況	—

この欄は操作できません
(研修日程はこの欄に記載の実施日ではなく、募集要項内の日程表をご参照ください)

ご本人様情報

お名前	氏 財団 名 太郎
メールアドレス	zaidan_tarou@xxxx ※ログインIDとして使用されます
受講案内について	確認しました。

確認画面へ

(ご注意)

- ①ご登録のメールアドレスにお問い合わせ、受講の可否などの連絡いたしますので、なるべく**個人でお持ちのメールアドレスをご登録**ください。
※携帯キャリアのアドレスはセキュリティが強くメールが届きにくくなっております。

- ②「**メールアドレスがすでに登録されている**」と表示される方は、**マニュアルの6ページまで進み、本登録**を完了してください。

③確認画面が表示されるので内容を確認して「申込」を押します。

先ほど入力したメールアドレスへ通知が送信されますので、メールをご確認下さい。

登録情報の入力 | 登録情報の確認 | 登録完了

5 申込み講座

下記講座に申し込みます。よろしいですか？

講座名	更新研修(実務未経験者向け)【令和5年度第1期】
実施日	2023/05/29(月)～2023/06/06(火) 09:30～16:00(1日間)
会場名	—

ご本人様情報

お名前	財団太郎
メールアドレス	zaidan_taro@aaaa.com
受講案内について	確認しました。

申込 戻る

※どちらでも問題ございません

申込 戻る

(受信制限の設定をされている方)
メール設定でドメイン指定受信などのメールフィルタ設定をしている場合は、以下のメールアドレスのドメインについて、受信許容の設定をしてください。
@fukushizaida.ne.jp @fukushizaidan.jp
設定方法は、ご利用端末のWebサイト等でご確認ください。

④ご登録いただいたメールアドレス宛にメールが2件届きます。

- 1 本登録用URL記載メール 2 ログインパスワード記載メール

※仮登録のみでは申込手続きは完了しません。6頁以降に記載の**本登録**を必ず行ってください。

The screenshot shows an email inbox on the left and an open email titled "受講申込手続きについて" (Regarding the application procedure) on the right. The email is from "東京都福祉保健財団ケアマネ研修担当" (Kea-maneru Training Staff, Tokyo Metropolitan Welfare and Health Foundation). The email body contains login information and a password reset link. Red callout boxes highlight key information: the login URLs (PC and mobile), the password reset link, and the password itself. Blue callout boxes explain that the password email is separate from the ID notification email and that users should check the content if they don't receive the password email.

PC用URLもしくはモバイル用URLを選択します。ユーザーIDは仮登録画面で入力したメールアドレスとなります。

パスワードのメールが受け取れない場合はこちらの内容をご確認ください。

パスワードのメールはIDの通知メールとは別で届きます。

パスワード: xVYWFv5y

▼ログイン方法▼
 PC用URL
<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/>
 モバイル用URL
<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/mobile/>
 ユーザーID hana@kensyu.co.jp
 パスワード 別メールにて送付されているパスをご確認ください。

パスワードが届かない方は以下のURLより再発行をお願いいたします。
https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/top/reset_password/2

【問い合わせ先】
 公益財団法人東京都福祉保健財団 ケアマネ研修担当
 TEL: 03-3344-8512 (平日 8:45 - 17:30)

Leaf管理者 <@fukushizaidan.jp> (sendgrid.net から)
 宛先: 研修はなこ
 登録番号有
 研修 はなこ 様
 いつも大変お世話になっております。
 Leaf管理者です。
 パスワードを発行いたしましたので、お知らせいたします。

パスワード: xVYWFv5y

以下のURLよりログインしてください。
<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/>
 何卒、よろしくお願いいたします。

ログインできました。 ご対応ありがとうございました。 ありがとうございました。

本登録のメールが届かない方①

メールが届いている方は、本登録のページ（5頁）にお進みください

本登録用のメールが届かない方は、以下①、②をご確認いただきますようお願いいたします。

① 登録時のメールアドレス(ログインID)が違っている。



手順1

② 受信フォルダ以外(迷惑メール等)に入っている。
特定のメールのみ受信する設定となっている。



手順2

手順1

(1) 財団HPに記載のお申込フォームから、再度申込み手続きをお願いいたします。

(2) 正しいメールアドレスを入力しても

！このメールアドレスは既にログインIDとして使用されています。

(右図)の画面が表示される方は、手順2をご確認ください。

ケアマネ研修申込みシステム 画面ID:69-03

登録内容に不備があります。
講座申込

登録情報の入力 → 登録情報の確認 → 登録完了

(例)

申込講座	
講座名	再研修【令和5年第1期】
実施日	2023/05/26(金)~2023/06/06(火) 09:30~16:30(1日限)
会場名	-
申込状況	-

ご本人様情報

お名前	氏 <input type="text" value="〇〇〇"/> 名 <input type="text" value="〇〇〇"/>
メールアドレス	<input type="text" value="kobakoro810@gmail.co"/> ※ログインIDとして使用されます ①このメールアドレスは既にログインIDとして使用されています。
受講案内について	確認しました。▼

確認画面へ

メールが届いている方は、本登録のページ（6頁～）にお進みください

手順2

メールを確認できない場合は、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

電話：**03-6902-1033** 平日（9:00-17:00）

メール：care-system-helpdesk@insource.co.jp

※ 操作方法等はご利用端末やメールアプリケーションにより異なります。

そのため、個別でのご対応ができませんので、**ご自身で確認**いただきますようお願いいたします。

○下記リンクは、本登録時に使用する「ケアマネ研修申込システム」のリンクです。
ヘルプデスクの指示に従い操作を進めてください。

（パソコン用）：<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/>

（パソコン用）

（モバイル用）：<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/mobile/>

（モバイル用）

東京都福祉保健財団ホームページ（研修）：http://www.keamane.tokyo.jp/index.html

ケアマネ研修申込システム

ログインID

パスワード

ログイン

お申込み期間
2月22日（水）から 3月2日（木）まで
（本登録までお願いします。）

（例）

ケアマネ研修申込システム

画面ID：1-01M

ログインID

パスワード

ログイン

本登録（申込完了まで）

本手順書に沿って申込みを行ってください。

※本資料の画面は実際の画面と異なる場合もございます。

- ①受信したメールに記載されたPC用URLへ接続し、ID(メールアドレス)と通知されたパスワードを使用してログインします。

メールが届かない方
→マニュアル4ページへ

ログイン画面

受信メール

受講申込手続きについて

東京都福祉保健財団ケアマネ研修担当
宛先: 研修はなこ
2023/01/16 (月) 15:21

研修はなこ 様

受講申込手続きについて、まだ完了していません。
以下のURLよりアクセスいただき、設問に回答いただきますようお願いいたします。

▼ログイン方法▼

- PC用URL
<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/>
- モバイル用URL
<https://fukushizaidanform.leaf-hrm.jp/mobile/>
- ユーザーID hana@kensyu.co.jp
- パスワード 別メールにて送付されているパスをご確認ください。

Leaf管理者 <...@fukushizaidan.jp> (sendgrid.net から)

宛先: 研修はなこ

登録番号有
研修 はなこ 様

いつも大変お世話になっております。
Leaf管理者です。

パスワードを発行いたしましたので、お知らせいたします。

パスワード: xVYWFv5y

②ログイン後に表示されるトップ画面の研修を押して詳細を開きます。

利用者TOP
申込検索・申込

直近の受講予定

2023/06/12(月)

実務研修	詳細は募集案内をご覧ください
内容	詳細は募集案内をご覧ください
実施日	2023/06/12(月)~2023/08/07(月)
会場	—
住所	
備考	本画面の以下「回答入力」より入力をお願いします。

受講履歴一覧

クリック

(例)

■申込状況について
 ・指名 管理者から指名されていますが**まだ受講が確定していません**。「申込」ボタンを押して申込申込を行ってください。
 ・申込中 管理者の承諾待ちです。
 ・受講予定 受講が確定している状態です。
 ・キャンセル待ち キャンセル待ちで申込みできます。すでに受講予定の方がキャンセルされた場合、受講予定になります。
 ■ファイル格納について
 ファイル格納ボタンを押すと、指定したファイルを管理者に提出することができます。
 ■申込動画について
 簡短完了報告がされていない動画がある場合、「完了報告未済の動画有り」と表示されます。
 ▶と表示された動画が未報告、▶と表示された動画が報告済みの動画です。

My申込一覧

過去の申込を参照したい場合は、日付欄に対象期間を入力して表示ボタンを押してください。

～

表示

実施日	申込名	会場名	受講状況	受講更新	ファイル格納	管理者からの資料	あなたが出した資料	申込動画
2023/06/12(月)	専門研修1【令和5年第1期】	—	受講予定	キャンセル				

申込フォーム一覧

過去の申込フォームを参照したい場合は、日付欄に対象期間を入力して表示ボタンを押してください。

～

表示

実施日	申込名	申込フォーム名	回答期限	回答状況	正解数(得点) / 合計(満点)

■回答状況について(各ボタンの説明)

- 回答入力 申込フォーム未回答の状態です。回答期限までにボタンを押して回答を入力してください。
- 参照 回答いただいた内容を閲覧できます。

③画面を少し下へスクロールすると申込フォーム一覧があります。「**回答入力**」より回答を押します。



ケアマネ研修申込みシステム

画面ID: 7-06

目 利用者TOP
申込検索・申込

申込概要 受講予定 戻る

2023/06/ 12 (月)	<h2>実務研修</h2>
内容	詳細は募集案内をご覧ください
実施日	2023/06/12(月)~2023/08/07(月) (延べ6日)
会場	=
住所	<h3>(記載例)</h3>
地図	****地図が登録されていません****
道案内	
備考	本画面の以下「回答入力」より入力をお願いします。
研修対象者	令和5年4月1日現在、介護支援専門員として6か月以上従事している方
子備2	
講師	

申込フォーム一覧

実施日	申込フォーム名	回答期限	回答状況	正解数(得点) /合計(満点)
2023/06/12(月)	本登録入力フォーム(専門研修1)	2023/04/17(月)	回答入力	-/-

クリック

④ 申込フォームに入力します。回答を終わりましたら「確認画面へ」を押します。
未回答があると確認画面へ移動せず上部に赤字で表示が出ますので再度入力を行ってください。

Leaf 研修管理システム - リーフ 画面10: 17-01 公益財団法人東京都福祉保健財団 研修はなこさん

申込フォーム 回答入力

本登録申込フォーム 本登録入力フォーム 回答開始日: 2023/01/17(火) 締切日: 2023/01/31(火)

受講にあたり必要な情報の登録をお願いします。本入力をもってお申込み完了となりますので必ずご回答ください。

当画面を開いた状態のまま2時間以上経過するとタイムアウトになります。*は必須項目ですその場合は再度ログインしてから操作を行ってください。

* 1. 介護支援専門員としての従事経験に該当するものを選択してください。(令和5年4月時点)

回答: 無し
 現在従事中
 従事していたことがある

* 2. 介護支援専門員としての従事期間(令和5年4月1日時点)に該当するものを選択してください。

回答: 6か月未満
 6か月以上2年未満
 2年以上
 3年未満
 3年以上

12 身障者の障害者のため受講において配慮を希望する場合はその内容を記入してください。

* 12-1 受講において配慮を希望しますか。

回答: 不要
 要

12-2 配慮を希望する場合は、その内容を記入してください。

回答:

一時保存 確認画面へ

(記載例)

Leaf 研修管理システム - リーフ 画面10: 17-01 公益財団法人東京都福祉保健財団 研修はなこさん

No.5-4が未回答です
No.5-5が未回答です
No.5-6が未回答です

申込フォーム 回答入力

最新更新日時: 2023/01/17 09:15:44(研修はなこ)

必須項目に入力抜けがある場合は
確認画面へ遷移せず図のような表示
が画面上部ロゴの下に表示されます。
対象の項目を記入してください。

回答記入欄の枠が広い場合がござい
ますが、入力例に従って左上
詰めでご記入ください。

⑤入力内容の確認画面が表示されるので内容を確認し「回答確定」を押します。「回答が完了しました。」というメッセージ画面が表示されて登録完了となります。「閉じる」を押すとトップ画面に戻ります。

Leaf 研修管理システム - リーフ - 画面ID: 17-02 公益財団法人東京都福祉保健財団 研修はなこさん

申込フォーム 回答確認

本登録申込フォーム 本登録入力フォーム 回答開始日: 2023/01/17(火) 締切日: 2023/01/31(火)

受講にあたり必要な情報の登録をお願いします。本入力をもってお申込み完了となりますので必ずご回答ください。

当画面を開いた状態のまま2時間以上経過するとタイムアウトになります。その場合は再度ログインしてから操作を行ってください。 *は必須項目です

* 1 介護支援専門員としての従事経験に該当するものを選択してください。(令和5年4月時点)

無し

(記載例)

* 2 介護支援専門員としての従事期間(令和5年4月1日時点)に該当するものを選択してください。

6ヶ月未満

本申込フォーム入力マニュアルに今回の研修申込の記載例を掲載しております

* 3 専門員証有効期間満了日を選択してください。

2023/07/31

4 登録都道府県を記入してください。

* 4-1 東京都もしくは他都道府県を選択してください。

東京都

* 11 提出する課題の種類を選択してください。

雑談系

12 身体の不調等のため受講において配慮を希望する場合はその内容を記入してください。

* 12-1 受講において配慮を希望しますか。

不要

12-2 配慮を希望する場合は、その内容を記入してください。

Leaf 研修管理システム - リーフ - 画面ID: 17-02 公益財団法人東京都福祉保健財団 研修はなこさん

回答が完了しました。

ご回答ありがとうございます。

この画面を閉じた後、左上にある「利用者TOP」ボタンを押下すると回答が反映されます。

次に開くべき申込フォーム・動画・申込資料がある場合は、「閉じる」ボタンを押下するとそちらへ移動します。

受講申込み手続き完了



ケアマネ研修 (システム用) <care-system@fukushizaidan.jp>
宛先 ケアマネ研修 (システム用)

介護支援専門員研修の受講申込み手続きが完了しました。

今後、当財団にて申請内容の審査を行います。
不備や確認事項がある場合は、当財団から電話またはメールで連絡させていただきます。

申込結果は、メールでお知らせいたします。
(時期については、募集案内をご覧ください)
なお、定員の超過等により受講不決定となった場合も連絡いたします。

※本メールはシステムによる自動送信メールです。返信することはできません。
※本メールにお心当たりのない場合は、破棄してください。

=====

公益財団法人 東京都福祉保健財団 ケアマネ研修担当
電話 03-3344-8512 (平日 8:45-17:30)

=====

上記画面が表示されましたら
お申込みは完了です！！

申込完了後、左記メールを自動送信しておりますが、ご設定のメールアドレスによっては届かない場合もございます。届かない場合でも、上記の回答完了の画面が表示されていれば、お申込済ですので、ご安心ください。

⑥登録が完了するとトップ画面の上部に表示されていた案内が非表示となります。**(本登録は完了しています。)**
 なお、お申込内容については、申込フォーム一覧の回答状況「参照」で確認できます。

直近の受講予定

受講履歴一覧

内容	
実施日	
会場	
住所	
備考	

My申込一覧

・過去の申込を参照したい場合は、日付欄に対象期間を入力して表示ボタンを押してください。

実施日 ~

- 受講状況について
 - ・指名 管理者から指名されていますが**まだ受講が確定していません。**
「申込」ボタンを押して申込申込を行ってください。
 - ・申込中 管理者の承諾待ちです。
 - ・受講予定 受講が確定している状態です。
 - ・キャンセル待ち キャンセル待ちで申込みできます。すでに受講予定の方がキャンセルされた場合、受講予定になります。
- ファイル格納について
ファイル格納ボタンを押すと、指定したファイルを管理者に提出することができます。
- 申込動画について
閲覧完了報告がされていない動画がある場合、「完了報告未済の動画有り」と表示されます。
▶と表示された動画が未報告、▶と表示された動画が報告済みの動画です。

実施日	申込名	会場名	受講状況	受講更新	ファイル格納	管理者からの資料	あなたが出した資料	申込動画
2023/06/12(月)	実務研修	—	申込完了					

(記載例)

申込フォーム一覧

・過去の申込フォームを参照したい場合は、日付欄に対象期間を入力して表示ボタンを押してください。

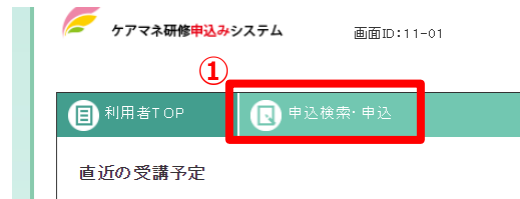
回答期限 ~

- 回答状況について(各ボタンの説明)
- ・回答入力 申込フォーム未回答の状態です。回答期限までにボタンを押して回答を入力してください。
- ・参照 回答いただいた内容を閲覧できます。

実施日	申込名	申込フォーム名	回答期限	回答状況	正解数(得点) /合計(満点)
2023/06/12(月)	実務研修	本登録入力フォーム(専門研修Ⅰ) <input type="button" value="受講済条件"/>	2023/04/17(月)	<input type="button" value="参照"/>	-/-

こちらはマニュアル8ページにて、研修名が表示されなかった方向けの案内ページです。

①TOP画面にて、研修検索・申込画面を押します。



②申込検索結果から該当の研修の【申込】ボタンを押します。

申込検索結果

実施日	実施時間	申込名	申込グループ名	会場名	申込状況	申込
2023/04/25(火)		住所・氏名変更届 実務研修		-	-	申込終了
2023/08/20(日)		更新研修(実務経験者)88時間 更新研修(88時間)		-	-	申込終了
2023/08/25(金)		更新研修(実務未経験者向け)【令和5年度第2期】 更新研修(未経験者向け)		-	-	申込終了
2023/08/25(金)		再研修【令和5年度第2期】 再研修		-	-	申込終了
2023/09/19(火)		専門研修Ⅰ【令和5年度第2期】 専門研修Ⅰ		-	389/	申込終了
2023/10/12(木)		更新研修(実務経験者)32時間 更新研修(32時間)		-	300/	② 申込

③左のような画面が表示されるので、【完了】を押します。
※申込理由は記載しなくて結構です。

申込申込 画面ID:12-02

この申込に申し込みます。よろしいですか？

申込名 更新研修(実務経験者)32時間

実施日 2023/10/12(木)

会場名 -

運営会社

申込理由をお書きいただき、「完了」を押してください。
登録されているメールアドレスに申込確認メールをお送りしますのでご確認をお願いいたします。
※メールアドレスが登録されていない場合は、管理者の方に送られます。
※キャンセル待ちで申込みの場合、メールは送られません。

申込理由

③ 完了

Copyright (C) 2009 - 2023 insource Co.,Ltd All Rights Reserved.

④画面上部にて、利用者TOPを押します。



完了したら、マニュアルの7ページに戻り、研修申込を完了させてください。

- ①仮登録後、メールに記載された**モバイル用URL**へ接続し、ID(メールアドレス)と通知されたパスワードを使用してログインします。ログイン後すぐに表示されるトップ画面より「確認する」を押します。

- ②概要画面下にある「回答入力」より回答を押します。
- ③申込フォームの入力が完了したら「確認画面へ」を押します。

2023/06/12(月)	実務研修
日程	2023/06/12(月)~2023/08/07(月) (延べ6日)
会場	—
住所	(記載例)
内容	詳細は募集案内をご覧ください
備考	本画面の以下「回答入力」より入力をお願いします。
研修対象者	令和5年4月1日現在、介護支援専門員として6か月以上従事している方

動画一覧

動画はありません

申込資料一覧

申込資料はありません

申込フォーム一覧

回答入力

Leaf 研修管理システム - リーフ - 画面ID : 17-01M

公益財団法人東京都福祉保健財団 登録番号無
研修太郎さん ログアウト

申込フォーム 回答入力
当画面を開いた状態のまま2時間以上経過するとタイムアウトになります。その場合は再度ログインしてから操作を行ってください。

本登録申込フォーム 本登録入力フォーム
回答開始日 : 2023/01/17(火)
(例) 2023/01/24(火)

(記載例)

受講にあたり必要な情報の登録をお願いいたします。入力力をもってお申込み完了となりますので、必ず入力してください。

* は必須項目です

* 1. 介護支援専門員としての従事経験を選択してください。(令和5年4月1日現在)

無し
 現在従事中
 従事していたことがある

12. 身体の障害等のため受講において配慮を希望する場合はその内容を記入してください。

* 12-1. 受講において配慮を希望しますか。

不要
 要

12-2. 配慮を希望する場合は、その内容を記入してください。

回答記入欄の枠が広い場合がございますが、入力例に従って左上詰めでご記入ください。

一時保存

確認画面へ

TOPページへ戻る

④入力内容の確認画面が表示されるので内容を確認して「回答確定」を押して登録完了となります。

Leaf 研修管理システム - リーフ - 画面ID : 17-02M

公益財団法人東京都福祉保健財団 登録番号無
研修太郎さん ログアウト

申込フォーム 回答確認

当画面を開いた状態のまま2時間以上経過するとタイムアウトになります。その場合は再度ログインしてから操作を行ってください。

本登録申込フォーム 本登録入力フォーム

回答開始日 : 2023/01/17(火)
締切日 : 2023/01/31(火)

受講にあたり必要な情報の登録を完了し、入力内容を確認して入力をもってお申込み完了となります。入力内容を確認してください。

※は必須項目です

※ 1.介護支援専門員としての従事経験に該当するものを

※ 11.提出する課題の種類を選択してください。

施設系

12. 身体の障害等のため受講において配慮を希望する場合はその内容を記入してください。

※ 12-1.受講において配慮を希望しますか。

不要

12-2.配慮を希望する場合は、その内容を記入してください。

戻る **回答確定**

(記載例)

Leaf 研修管理システム - リーフ - 画面ID : 17-02M

公益財団法人東京都福祉保健財団 登録番号無
研修太郎さん ログアウト

回答が完了しました。

ご回答ありがとうございます。

TOPページへ戻る

受講申込み手続き完了

 ケアマネ研修 (システム用) <care-system@fukushizaidan.jp>
宛先 ケアマネ研修 (システム用)

介護支援専門員研修の受講申込み手続きが完了しました。

今後、当財団にて申請内容の審査を行います。
不備や確認事項がある場合は、当財団から電話またはメールで連絡させていただきます。

申込結果は、メールでお知らせいたします。
(時期については、募集案内をご覧ください。)
なお、定員の超過等により受講不決定となった場合も連絡いたします。

※本メールはシステムによる自動送信メールです。返信することはできません。
※本メールにお心当たりのない場合は、破棄してください。

=====
公益財団法人 東京都福祉保健財団 ケアマネ研修担当
電話 03-3344-8512 (平日 8 : 45-17 : 30)
=====

申込完了後、下記メールを自動送信しておりますが、ご設定のメールアドレスによっては届かない場合もございます。届かない場合でも、左記の回答完了の画面が表示されていれば、お申込済ですので、ご安心ください。

この画面が表示されましたら
お申込みは**完了**です！！

トップ画面の「申込検索・申込」を押すと、申込検索結果一覧よりお申込みの研修を選択します。



以下の画面が表示されるので「参照」を押すと確認できます。この状態であれば、お申込は完了しています。

2023/06/ 12(月)	実務研修
日程	2023/06/12(月)～2023/08/07(月) (延べ6日)
会場	—
住所	(記載例)
内容	詳細は募集案内をご覧ください
備考	本画面の以下「回答入力」より入力をお願いします。
研修対象者	令和5年4月1日現在、介護支援専門員として6か月以上従事している方
予備2	
講師	

動画一覧

動画はありません

申込資料一覧

申込資料はありません

申込フォーム一覧

参照	本登録入力フォーム（専門研修1） 申込完了条件 回答期限：2023/04/17(月)
-----------	---